

科目	土木・建築設計製図 I (Design and Drawing for Civil Engineering and Architecture I)		
担当教員	小塚 みすず 准教授		
対象学年等	都市工学科・3年・前期・必修・1単位【演習】(学修単位I)		
学習・教育目標	A4-S1(100%)		
授業の概要と方針	製図用具の正しい使い方と製図に関するJISおよび関連JISの規約を理解させ、構造物の写図、読図など製図の基本を修得させる。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【A4-S1】製図の基本である、線や文字の種類等を理解し、正しく描くことができる。		製図の基本である、線や文字の種類等を理解し、正しく描くことができているか、成果品(図面)で評価する。
2	【A4-S1】製図を、正確に、明瞭に、迅速に描くことができる。		製図課題を与え、正確かつ明瞭に描かれているか、迅速に描き、期限内に提出できたかについて、成果品(図面)およびレポート(作業日誌等)で評価する。
3	【A4-S1】製図図面の写図および読図ができる。		道路用RC側溝図、木造建築物の配置図および平面図の模写の課題を与え、写図および読図ができているかについて、成果品(図面)およびレポート(作業日誌等)で評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、成果品(図面)90% レポート(作業日誌)10% として評価する。レポートは毎回の作業日誌を評価する。100点満点で60点以上を合格とする。なお、提出期限に遅れた場合は原則、評価の対象としない。また、一つでも課題が提出されない場合は不合格とする。		
テキスト	配付する資料および製図例		
参考書	「土木製図」: 文部科学省検定教科書(実教出版) 「建築設計製図」: 文部科学省検定教科書(実教出版)		
関連科目	土木・建築設計製図II~IV, CAD基礎, 建築計画, 建設都市法規		
履修上の注意事項	製図に必要な用具は購入し、毎回、自身の製図道具と配付資料を持参すること。		

授業計画(土木・建築設計製図Ⅰ)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	オリエンテーションおよび線の練習(1)	製図用具の使い方,製図用紙のサイズ,製図の描き方について解説する.線の書き方について解説する.課題「線の練習」をケント紙に描く.
2	線の練習(2)	線の書き方について解説する.課題「線の練習」をケント紙に描く.
3	ショードローイングの練習およびグリッド線の練習	ショードローイングに用いられる平面用・立面用シンボルについて解説する.課題「ショードローイングの練習」をケント紙に描く.等間隔に線を引く方法について説明する.課題「グリッド線の練習」をケント紙に描く.
4	文字の練習	製図用文字について解説する.課題「文字の練習」をケント紙に描く.
5	道路用RC側溝図(1)	設計図法について解説する.課題「道路用RC側溝図」の写図を行う.
6	道路用RC側溝図(2)	課題「道路用RC側溝図」の写図を行う.
7	開口部・建具の練習	様々な開口部や建具の説明と描き方について説明する.課題「開口部・建具の練習」をケント紙に描く.
8	提出課題の見直し(1)	これまで提出された課題を見直し,必要個所の修正および再提出を行う.
9	基準線,柱・壁の練習	建築の設計図法について解説する.課題「基準線,柱・壁,見えかき線の練習」をケント紙に描く.
10	平屋建専用住宅設計図(1)	設計図法について解説する.課題「平屋建専用住宅設計図:配置図」の写図を行う.
11	平屋建専用住宅設計図(2)	課題「平屋建専用住宅設計図:配置図」の写図を行う.
12	平屋建専用住宅設計図(3)	課題「平屋建専用住宅設計図:平面図」の写図を行う.
13	平屋建専用住宅設計図(4)	課題「平屋建専用住宅設計図:平面図」の写図を行う.
14	平屋建専用住宅設計図(5)	課題「平屋建専用住宅設計図:平面図」の写図を行う.
15	提出課題の見直し(2)	これまで提出された課題を見直し,必要個所の修正および再提出を行う.
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	中間試験および定期試験は実施しない.	